

2019年5月22日
イー・ガーディアン株式会社

2019年9月期 第2四半期 決算説明会

～売上・利益ともに過去最高を更新～



E-Guardian

We Guard All

目次

1. 当社紹介
2. 2019年上期 業績報告
3. 2019年通期 業績予想
4. 今後の展望



E-Guardian
We Guard All

目次

1. 当社紹介

2. 2019年上期 業績報告

3. 2019年通期 業績予想

4. 今後の展望



E-Guardian
We Guard All

本店所在地	東京都港区虎ノ門1丁目2番8号 琴平タワー8F (2019年1月本社移転)
上場証券取引所	東証一部 (証券コード : 6050)
設立	1998年5月
資本金	3億6,428万円(※)
従業員数(連結)	1,382名 (うち臨時従業員数1,041名) (※)
事業内容	掲示板投稿監視事業
決算期	9月期

We Guard All

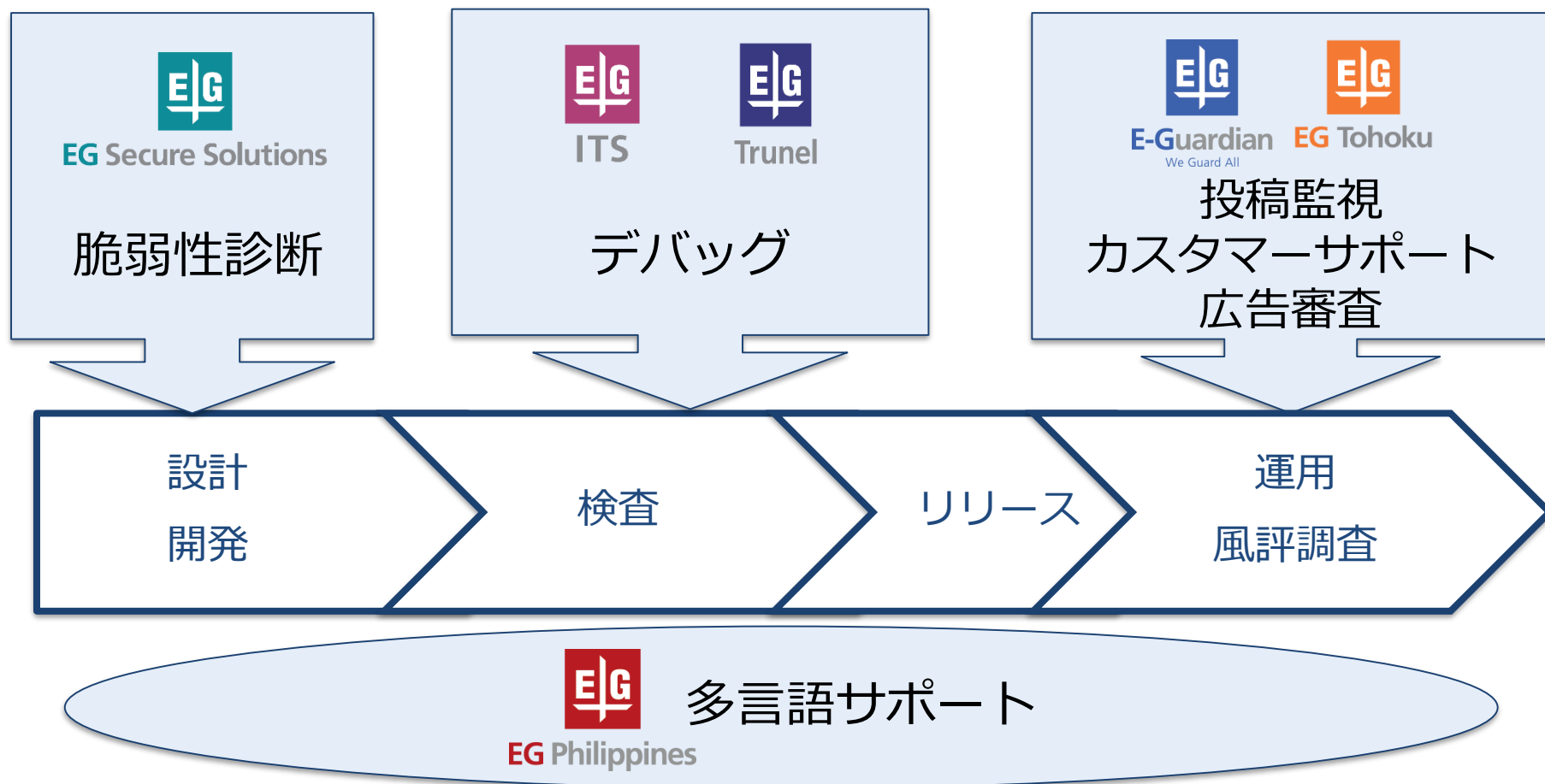
すべてのインターネット利用者に、安心・安全を提供します。

インターネットのリスクが高度化し セキュリティは不可欠に

<インターネットの10大リスク>

個人	順位	組織
インターネットバンキングやクレジットカード情報等の不正利用	1位	標的型攻撃による被害
ランサムウェアによる被害	2位	ランサムウェアによる被害
ネット上の誹謗・中傷	3位	ビジネスメール詐欺による被害
スマートフォンやスマートフォンアプリを狙った攻撃	4位	脆弱性対策情報の公開に伴う悪用増加
ウェブサービスへの不正ログイン	5位	脅威に対応するためのセキュリティ人材の不足
ウェブサービスからの個人情報の窃取	6位	ウェブサービスからの個人情報の窃取
情報モラル欠如に伴う犯罪の低年齢化	7位	IoT機器の脆弱性の顕在化
ワンクリック請求等の不当請求	8位	内部不正による情報漏えい
IoT機器の不適切な管理	9位	サービス妨害攻撃によるサービスの停止
偽警告によるインターネット詐欺	10位	犯罪のビジネス化（アンダーグラウンドサービス）

ネットセキュリティのワンストップサービス



人とシステムによる低コスト・高品質の実現

オペレーションの専門ノウハウ

早期からのAI活用



E-TRIDENT.
テキスト監視

2011年



ROKA SOLUTION
画像認識

2014年



Kiducoo AI
画像内物体検知

2017年

RPA
(Robotic Process
Automation)

2018年

AI動画監視
フィルタ

2019年



サービス多様化により事業領域が拡大

従来

現在

TVゲーム
携帯ゲーム機



ソーシャルゲーム、クラウドゲーム
5G

電話問合せ



メール・チャット問合せ

現金決済
クレジットカード決済



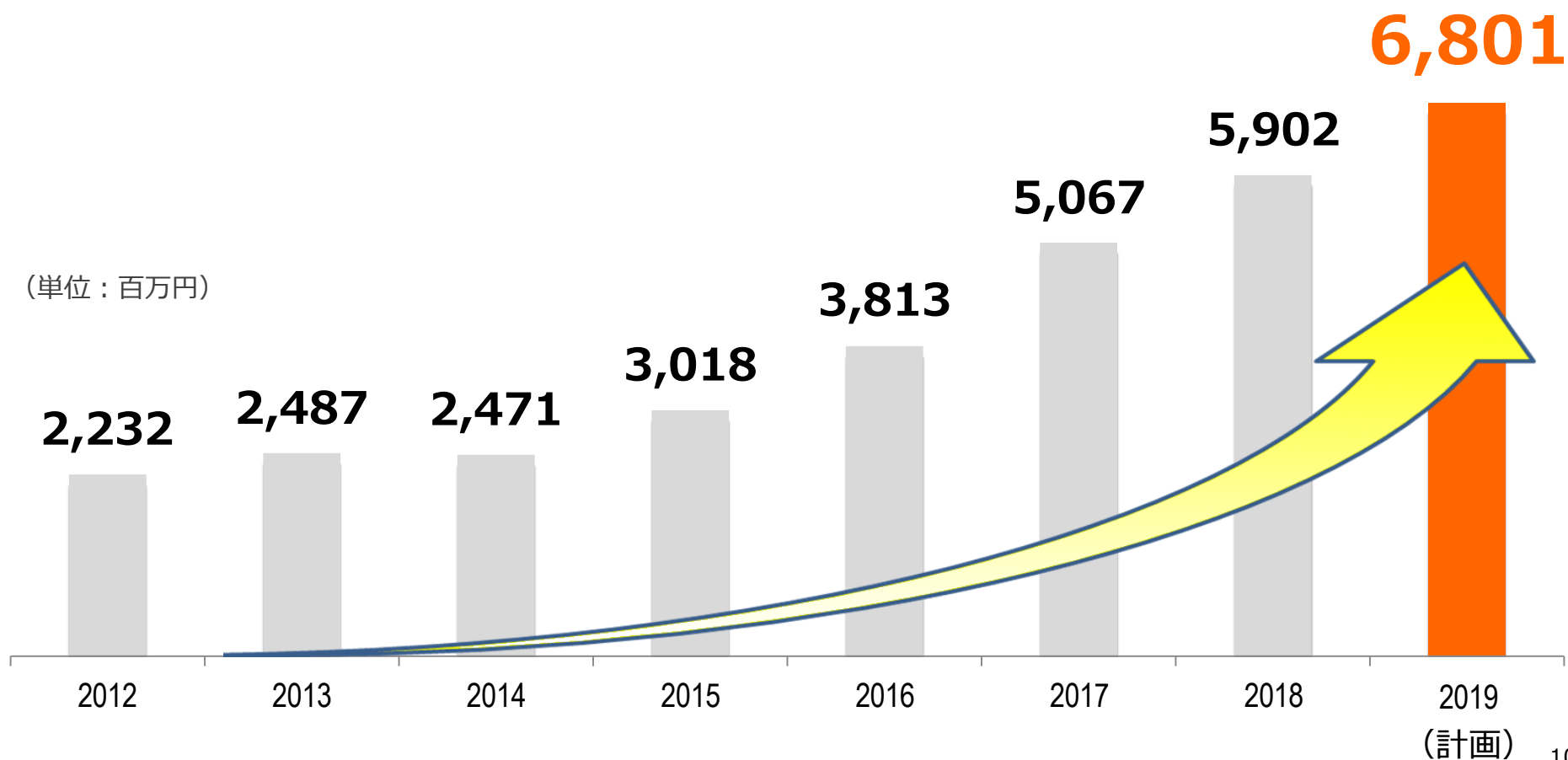
電子決済、仮想通貨、
Fintech

SNS、ブログ



EC、CtoC、シェアリング
VR、AR

売上は過去最高を更新 5年連続の2桁成長見込み



目次

1. 当社紹介

2. 2019年上期 業績報告

3. 2019年通期 業績予想

4. 今後の展望



E-Guardian
We Guard All

本社移転費用を吸収し、売上利益ともに前年比増加

業績結果

売上高 : **3,216**百万円 (9.9%増)

営業利益 : **576**百万円 (10.6%増)

ソーシャル サポート

CtoC、仮想通貨向け売上増加

売上高 : **1,143**百万円 (19.9%増)

ゲーム サポート

国内ゲーム会社向け売上減少を
海外ゲーム会社向け売上増加によりカバー

売上高 : **1,287**百万円 (4.1%増)

アドプロセス

広告運用代行等の売上増加

売上高 : **426**百万円 (12.2%増)

売上・営業利益ともに前年比大幅増加

(単位：百万円) (※)

	2018年上期	2019年上期	前年比
売上高	2,926	3,216	+9.9%
営業利益	520	576	+10.6%
経常利益	533	600	+12.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	364	394	+8.2%

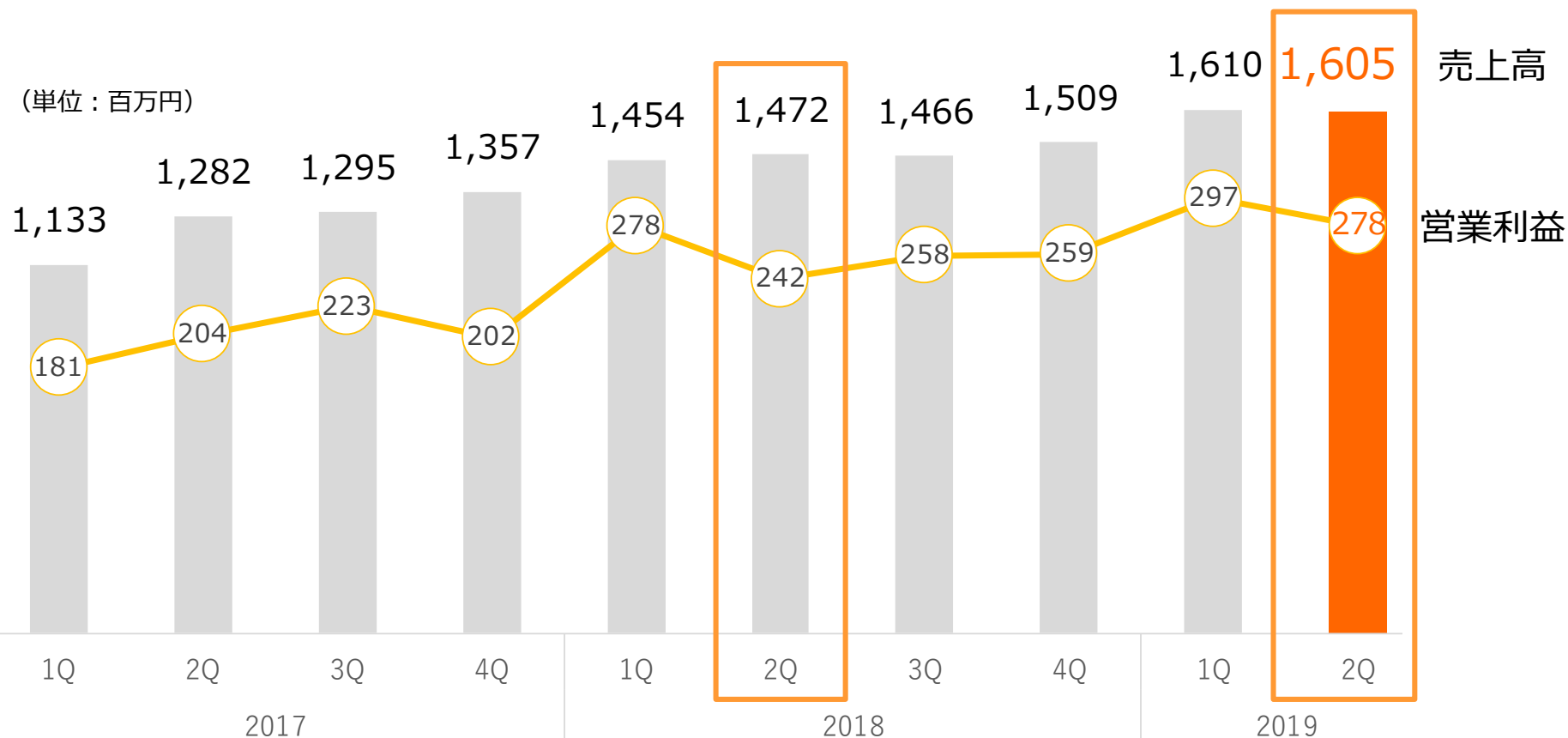
◆主な増減要因

売上高：ソーシャルサポート・アドプロセスにおいて大きく増加

営業利益：増販による利益増加

本社移転費用を吸収し 売上利益ともに前年比増加

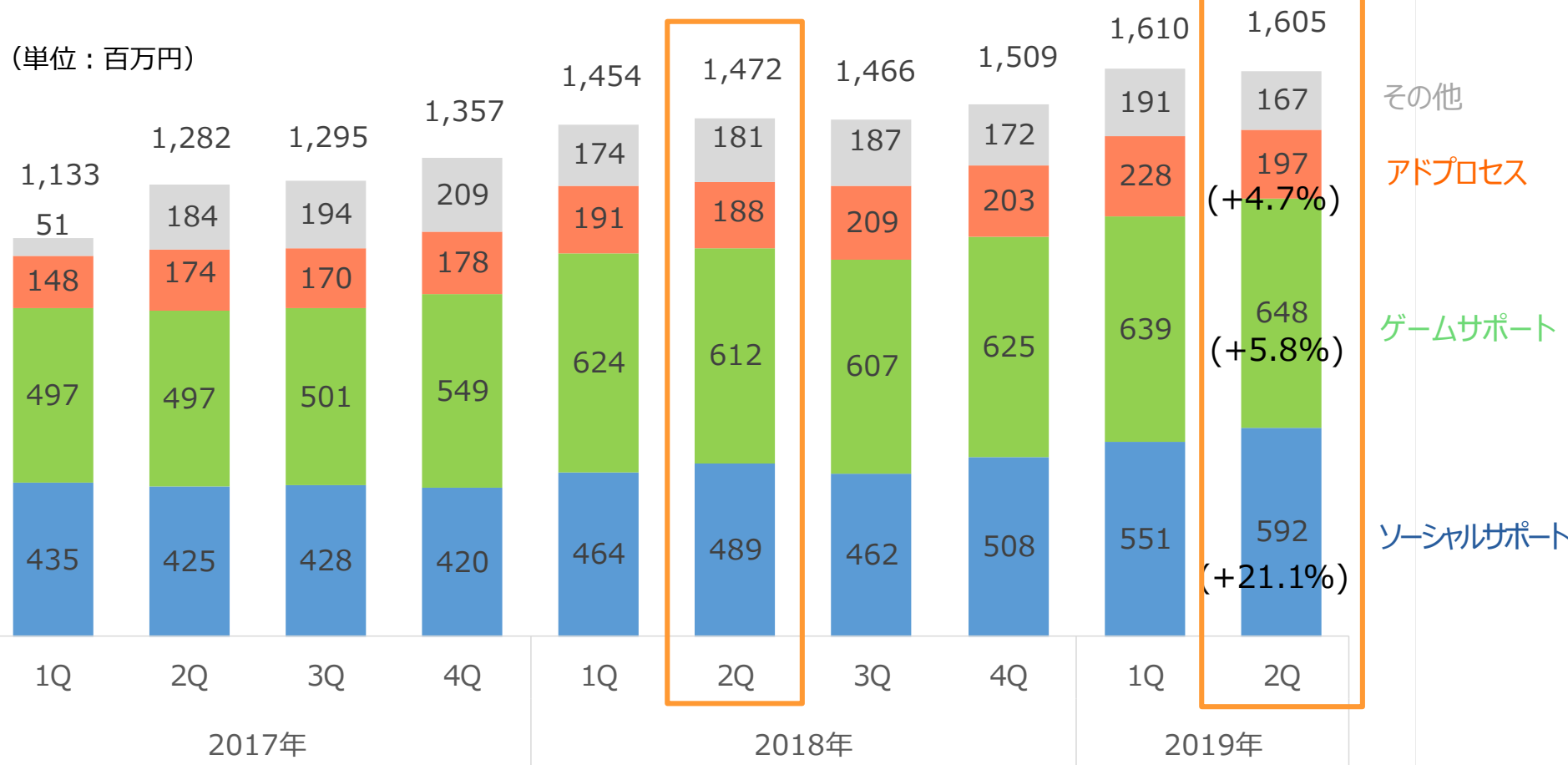
(単位：百万円)



※百万円未満切捨

全業務において売上増加

(単位：百万円)



CtoC、仮想通貨向け売上増加

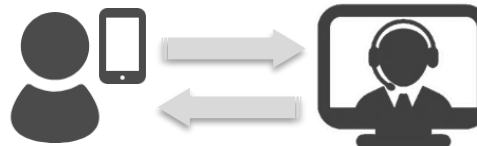
CtoC向けワンストップサービスが拡大

CtoCサービス

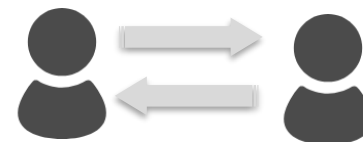
サービス開発



本人確認



取引



脆弱性診断
デバッグ

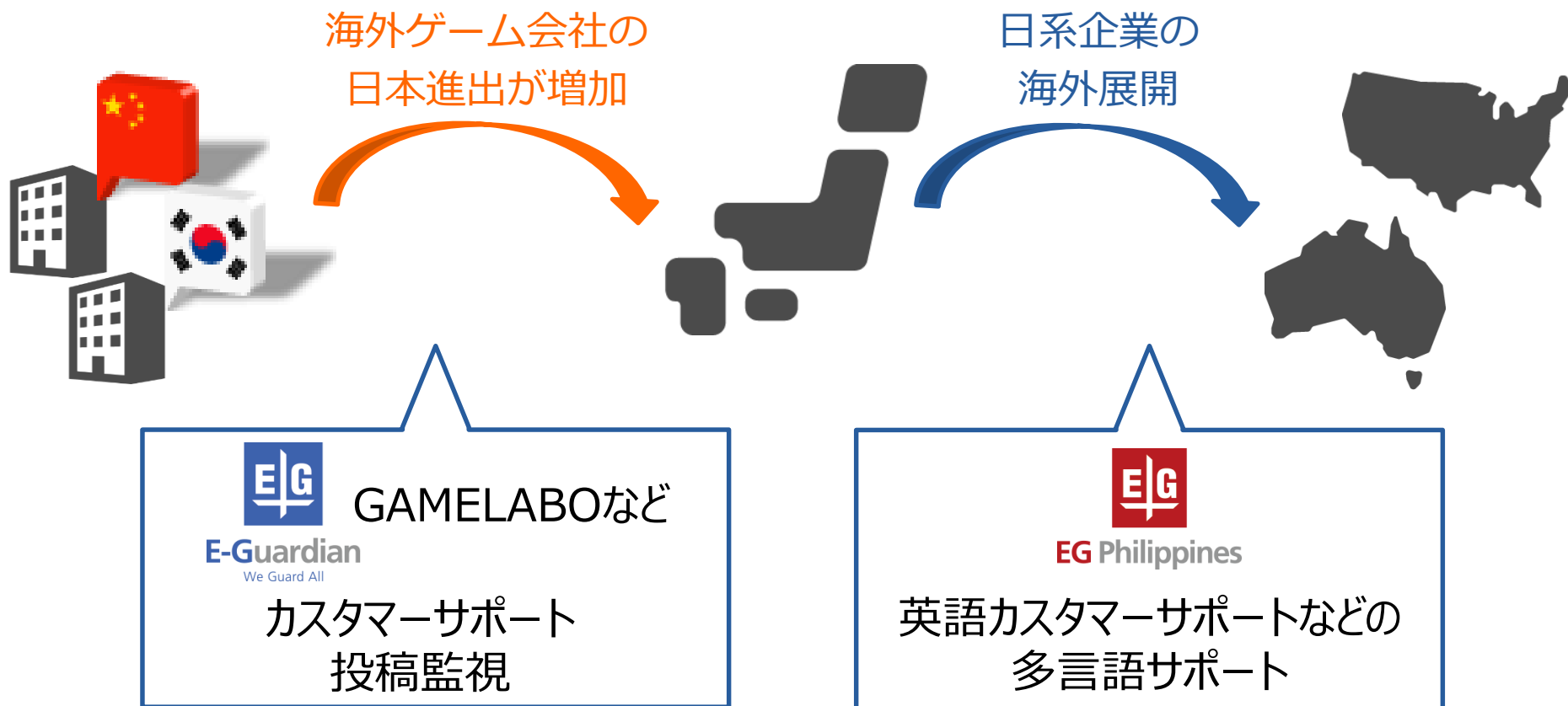
本人認証サービス

不正取引の監視
不正ユーザーの監視
カスタマーサポート



E-Guardian
We Guard All

海外ゲーム会社向け売上増加



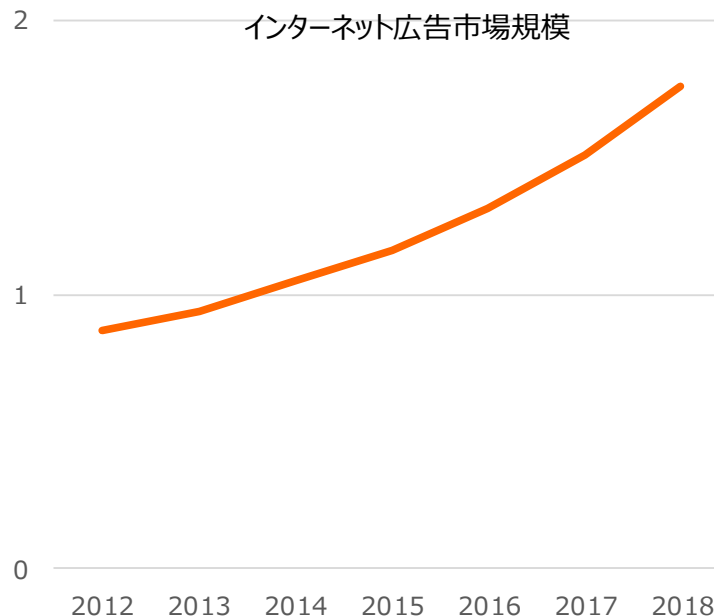
人手不足を背景に 業務フロー構築から運用代行まで提供

市場が拡大する反面
広告業界は人手不足に

当社

(単位：兆円)

インターネット広告市場規模



2019年1月本社移転

移転日

- 2019年1月28日

所在地

- 東京都港区虎ノ門一丁目2番8号
虎ノ門琴平タワー8F

目的

- ワンフロアに集約することによるコミュニケーションの活性化
グループシナジーの強化
- 採用力の強化

目次

1. 当社紹介
2. 2019年上期 業績報告
3. 2019年通期 業績予想
4. 今後の展望



E-Guardian
We Guard All

売上・利益ともに2桁成長が続く

(単位：百万円) (※)

	2018年9月期 (実績)	2019年9月期 (予想)	増減率
売上高	5,902	6,801	+15.2%
営業利益	1,039	1,159	+11.5%
経常利益	1,049	1,179	+12.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	736	814	+10.6%

(※)百万円未満切捨

売上利益ともに2ケタ成長を継続

業績予想

売上高： **6,801**百万円 (**15.2%**増)

営業利益： **1,159**百万円 (**11.5%**増)

課題

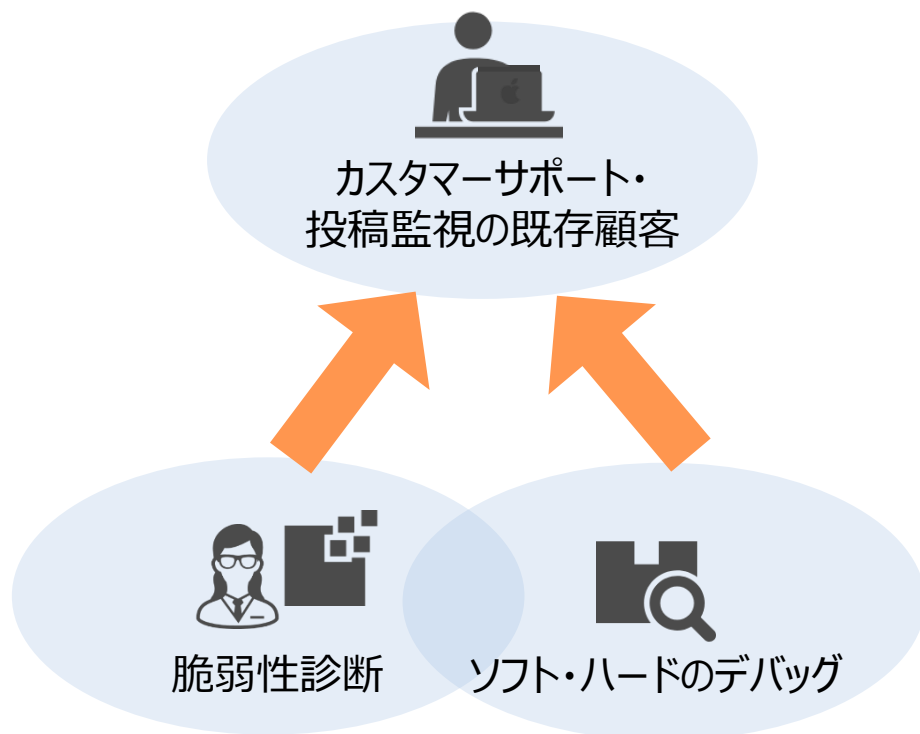
国内ゲーム会社向け売上は不透明

施策

- ① グループシナジーの拡大
- ② AIの活用
- ③ フィンテック領域へ展開
- ④ 多言語対応へ注力

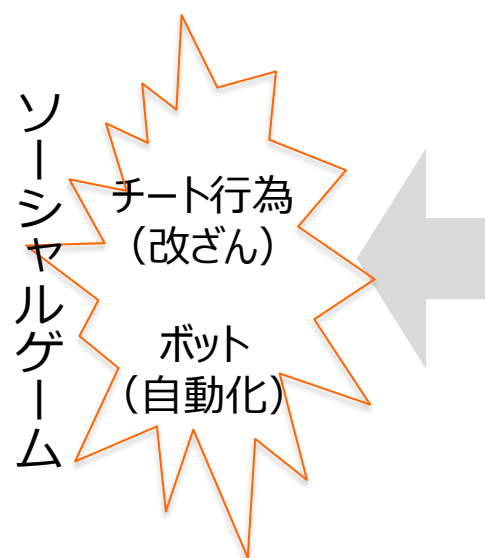
グループシナジーの拡大

クロスセルによる既存顧客深耕



新サービスの開発

チート・ボット対策



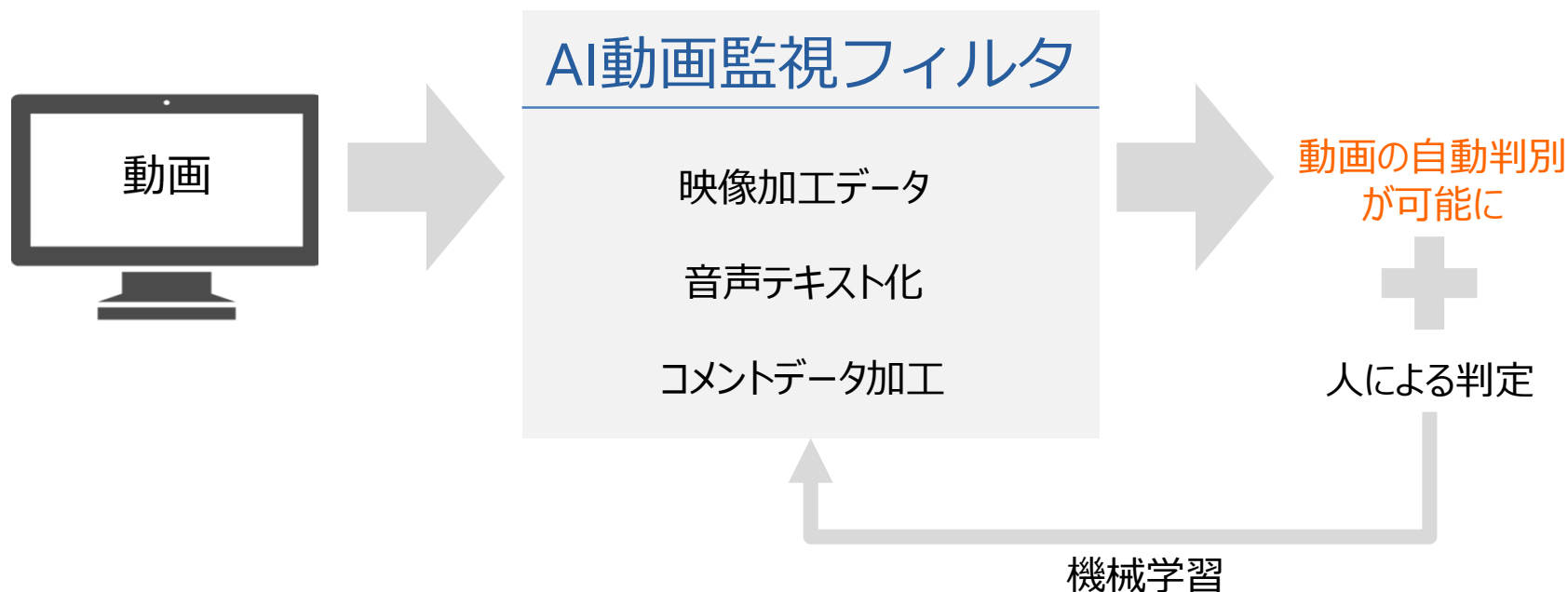
リアルタイムAI動画監視フィルタを共同開発



AI音声認識システム



AIソリューションノウハウ



フィンテック領域への展開

国内モバイル決済市場は拡大

当社

国内モバイル決済市場規模推移



仮想通貨サービスの横展開

業務フロー構築ノウハウ

口座開設時の本人認証サービス

eKYC(オンライン本人認証)サービスの開始



LIQUID

eKYC技術



E-Guardian
We Guard All

本人認証サービス

E-Guardian Philippinesを拠点とし 拡大する海外市場へ注力



(単位：兆円、1ドル111円として算出)
出典：Newzoo「Global Market Report」
対象：モバイル・PCゲーム

自己株式取得を決定

取得株式の種類	当社普通株式
取得株式数	100,000 株（上限） （発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合 1.0 %）
取得総額	250 百万円（上限）
取得期間	2019年5月10日～2019年6月20日
取得方法	取引一任契約に基づく市場買付

目次

1. 当社紹介
2. 2019年上期 業績報告
3. 2019年通期 業績予想
4. 今後の展望



E-Guardian
We Guard All

IoTにより当社セキュリティサービスのニーズが高まる

従来

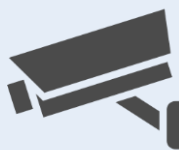
SNS・ソーシャルゲームなど
ネット上のサービス



将来



製造機器



監視カメラ

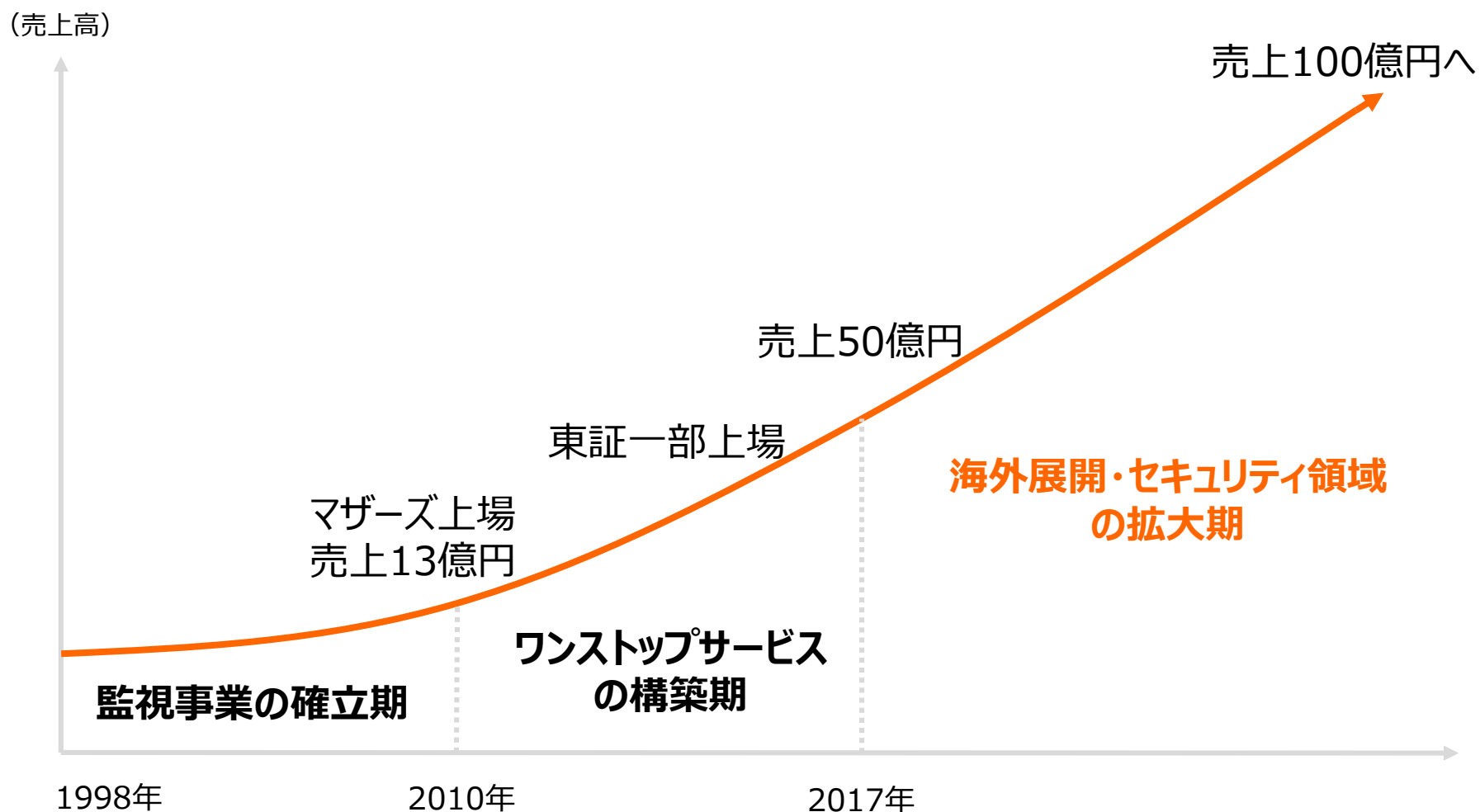


国内IoT市場は

7.4兆円→**12.5兆円**に
(2018年) (2022年) ※

ネットにつながるリスク
機器のハイテク化
サービス運用の高度化

海外展開・セキュリティ領域の拡大へ



この資料には、当社の計画や業績予想が含まれていますが、それらの計画や予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が計画、予想したものです。従いまして、実際の業績などは、今後、様々な要因によって計画、予想数値と異なる結果となる可能性があります。

お問い合わせ先：イー・ガーディアン株式会社管理部

info@e-guardian.co.jp

TEL 03-6205-8859

FAX 03-6205-8858